

「学びの芽生え」を「確かな学力」につなげるために 幼児期から児童期への教育の接続について

香南市では0歳から15歳までの教育を「香南市保幼小中連携カリキュラム」に基づいて進めています。なかでも保育所・幼稚園から小学校への教育内容は、**遊びを通じた学びから教科に基づいた学び**へと大きく変化をしていきます。幼児期に経験した遊びを通しての学びの芽生えが、小学校以降の教科学習にどのようにつながっているのかを意識して、学びの連続性や一貫性を大切に連携教育に取り組んでいます。



保育所・幼稚園のどろんご遊びも…

遊びのなかで、試したり、観察したりする。



考える【課題発見力】
なぜ?どうして?

どうやったら水が流れるのかなあ?

水をいっぱい流してみよう

片方を持ち上げてみよう

やった～水が流れた!!

わかる【達成感】
わかった!できた!

試す【探求心】
やってみよう!

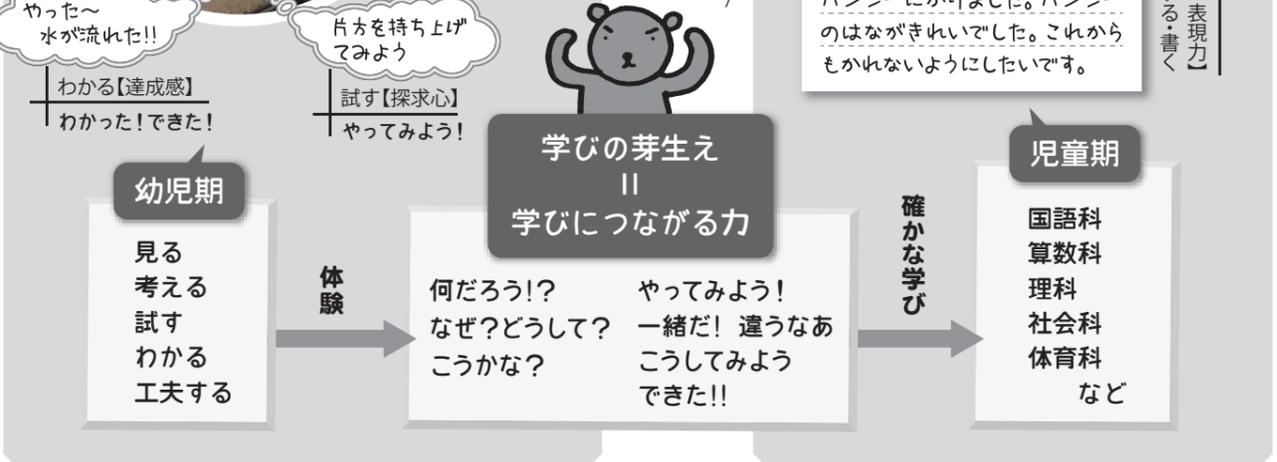
小学1年生の教科学習につながる

幼児期の遊びのなかで、観察することを体験しているの、対象物をよく観察したり、見つけたことや感じたことを絵や文で表現できるようになる。



わたしは、パンジーをうえました。パンジーをうえてあとから水をパンジーにかけました。パンジーのはながきれいでした。これからもかれないようにしたいです。

【観察力・表現力】
よく観察する・書く



幼児期の子どもたちは、遊びの中で「見る」「考える」「試す」「わかる」「工夫する」の体験を通して、思考力や探究心など、学びにつながる力を自然と身に付けていきます。
 子どもたちは、家庭でも「なんで〇〇なが?」「どうして◇◇になるが?」と質問してきますね。これが**学びの芽生え**です。
 幼児期に身に付けた「学びの芽生え=学びにつながる力」は、就学後の**確かな学力**へとつながります。
 学校や家庭、地域での子どもの興味や疑問を大切に、「なぜ?」「どうして?」を考えられる環境を作っていくことが、子どもたちの育成につながっていきます。

ゆかたんぼ日記

◆掲載に関する問い合わせ
 生涯学習課 ☎57-7523

今回は、香我美町で活躍する「香我美押し花サークル」を紹介します。

香我美押し花サークル

香我美押し花サークルでは、毎月それぞれのテーマを決めて、持ち寄った押し花を使い、作品づくりに取り組んでいます。

押し花は、主に道ばたの季節の草花を利用します。そのため、押し花を始めてからは、周囲を見る感覚が違ってきました。まるで草花が「自分を生かしてよ」と声を掛けてきているように感じます。

定例会では、技術の向上も目指していますが、それ以上に、「ここに来ればみんなワイワイおしゃべりを楽しめることができる、生きがいの場となっております。」

5月には、押し花を通して自然と接する楽しさを伝えていこうと、はがきやしおりを作る「春の押し花体験教室」を企画しています。

ぜひ、皆さんもレッスントを片手にすてきな世界を創造してみてください。



- 設立:平成11年
- 部員数:6人
- 練習日:毎月第2水曜日 13:30~16:00
- 練習場所:香我美市民館
- 問い合わせ 香我美市民館 ☎0887-55-2143

香南げんキミズ

今日は楽しいひなまつり

野市東保育所・幼稚園
 ひなまつり会(お茶会)

3月3日のひなまつりの日を前後して、1日(金)に野市東保育所で「ひなまつりお茶会」、4日(月)に野市東幼稚園で「ひなまつり会」が行われました。

野市東保育所では、会場のホールに5歳児さんがきれいに飾り付けたひな人形のほか、みんなが作ったかわいいひな人形も飾られ、素敵な雰囲気の中でお茶会を楽しみました。

野市東幼稚園では、ひなまつりの歌を歌ったり、ひなまつりにちなんだ紙芝居や紙人形劇が行われ、楽しみながらひなまつりについて知ることができました。

ひなまつりという日本の伝統文化に触れ、その雰囲気を味わいながら楽しいひとときを過ごした子どもたち。いつもは活発でにぎやかですが、おひな様とおだり様を前に、ゆったりとした時間を過ごしました。昼食もひなまつりメニューで、ひなまつり一色の楽しい一日となったのではないのでしょうか。



お家に「絃琴」はありませんか?

一絃琴調査のお知らせ

一絃琴は一本の絃を張った琴で、土佐には安政6年(1859年)に京都伏見より帰郷した山北村の郷士・門田宇平が伝え、多くの勤王の志士や文人らが門下生となりました。

香南市内では、土佐勤王党副党首・大石弥太郎らが学び、宇平没後も谷正守らが指導するなど一絃琴の盛んな地域となりました。

このたび、宇平の没後150年を記念した『土佐一絃琴展』を開催したところ、「一絃琴が家にある」との情報も寄せられました。「一絃琴は当時の文化を伝える大切なものです。そこで、江戸時代から大正時代に制作使用された一絃琴の所在を調査し、保存・伝承の基礎資料にしたいと考えております。お持ちの方は、ぜひ生涯学習課までご連絡をお願いします。」



お問い合わせ ☎57-7523